

N-JOHO局

第35回

はじめに

2017年6月発行 製作：ネダテ住建

雨に映える紫陽花の花も美しく、夏の訪れすら目前に感じられる今日この頃、皆様いかがお過ごしでしょうか。

早いもので2017年も半年が過ぎようとしていますね。
ネダテ住建も皆様のお陰で、充実した日々を送っております。
“Time is money(時は金なり)”忙しくも充実しているときこそ、この言葉を実感します。
ネダテ住建はこの夏も暑さにも負けない勢いで地域の皆様のお役に立てますよう、頑張っています！

皆様も夏の暑さに負けず、一日一日を大切にこの夏お過ごしください。
今後とも、ネダテ住建を宜しくお願い致します。

当社は「安心をつくります」という言葉を
家という形で作っていく工務店です。
ご相談・設計見積等はもちろん無料です。

小さな修繕から増改築・新築等
地場の私共にお任せ下さい。



LIXILリフォームショップ
ネダテ住建

株式会社ネダテ住建



0120-131-556

横浜市磯子区岡村1-3-15

TEL : 045-752-1034

FAX : 045-753-5198

Mail : j.nedate@triton.ocn.ne.jp

HP : <http://www.nedate-j.com/>



副編集長のコラム ～甘味好き～

梅雨、明けると猛暑なのでしょうか。

私のパン好きは前に述べた通りです。
ご近所の皆様から、「あそこのパンも美味しい」と、
教えていただくようになりました。

今回は甘味好きを披露させていただきます。
ケーキ・大福・饅頭・アイスクリーム・チョコレート
御座候の今川焼きなどなど・・・、
甘いものが本当に大好きです。

そして数年前から、いまだにはまっている、
自宅での甘味の食べ方をご紹介します。

①寒天を煮て冷蔵庫で冷やし固ませ、保存。

②赤エンドウ豆を一晩、水に浸しもどし、朝、それを茹で、
水気を切り冷めたら冷蔵庫で保存。

食べるときに①を1cmぐらいのサイコロ状にカットして
決まったマグカップにもります。

その上に、③「つぶあん」のをせ、さらにバニラアイス(M
OW)を並べ②の豆をふり、仕上げに黒蜜をかけ出来上
がり。(いわゆる「あんみつ」)

これをほとんど毎日、朝晩の食後に食べます。

時にはバナナやアンズなどフルーツをトッピングすること
もあります。

おつうじにも良い気がします。

ちなみに、③はもちろん、①・②全て、ご存知「木下製あ
ん所」のものです。

いろいろな甘味、ぜひ教えてください。

この夏、ご自愛いただき、乗り切ってください。





無金利ローンキャンペーン

リフォームするなら、今がチャンス!



大好評!
につき今年も
実施!

リフォーム
ローン
金利
分割払い
最長

0%

キャンペーン

60回までOK!

LIXILの商品を使って
おトクにリフォーム!

期間限定! 2017年5月1日~12月31日ローン申込み分まで

※一部取扱いのない店舗がございます。

お得にリフォームしませんか?

キャンペーン&補助金情報

住宅ストック循環支援



エコリフォームで 補助金がもらえる!

事業補助金

お住まいの住宅性能を向上させるリフォーム
(エコリフォーム)をしていただくと
工事内容に応じて補助金がもらえます!

補助限度額

1戸あたり

最大 30万円

◆対象となる開口部断熱リフォームの例◆

内窓設置

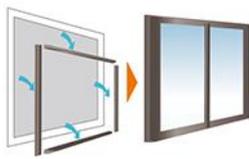
今ある窓の室内側に樹脂内窓を取付けて「二重窓」にする



※内窓の交換でも可

外窓交換

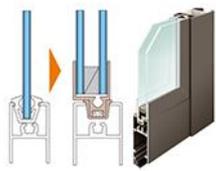
古いサッシを枠ごと取外し新しい断熱窓を取付ける



※増改築に伴って新設されるものでも可

ガラス交換

単板ガラスを複層ガラス等に交換する



既存窓 アタッチメント付き複層ガラス

ドア交換

今ある古いドア・引き戸を新しいドア・引き戸に交換する



※増改築に伴って新設されるものでも可

※詳細はネダテ住建までお問い合わせください!



今年も開催致しました！ 2017.4.30(日)

LIXIL リフォームフェア2017 in東京ビックサイト



▲こんなにたくさんの方にご参加頂きました。

昨年に引き続き、東京ビックサイトにて、
大型展示イベント『LIXILリフォームフェア2017』を開催
致しました。今年もたくさんの方にご参加頂き、大盛況の
イベントとなりました。

ご参加頂きました皆様、誠にありがとうございました！



▲ブースごとに住まいに役立つ
色々なセミナーが行われました



▲カーテンもあり、お部屋の
トータルコーディネートもできます！

▼CMでお馴染みの
TORIとKAERUもお出迎え



ネダテ住建の リフォーム相談会 開催します！

2017.7.23(日)

開催場所：LIXILショールーム横浜

開催時間：10:00～16:00

ご来場
イベント1

デコパージュ体験



誰でも簡単にできるデコパージュ！
専用のノリを使って、
自分だけのオリジナルの
石けんやカバンを作りましょう♪

◆開催時間10:00～16:00

ご来場
イベント2

IH料理試食会



最新IHを利用したお料理を
試食してみませんか？
今回はお菓子をご試食頂く予定です！
IHにご興味ある方はぜひいらして下さい。

◆開催時間10:00～16:00

★随時開催予定です！

その他ご来場特典等もございます！

リフォームをお考えの方も、ショールームを少し見てみたいという方もぜひこの機会に足をお運びください！

「ゼンマ」に日露戦争があった

ご年配の方々にとって「ゼンマ」の名は地名というよりも、かつて八幡橋にあった区内最大の近代的工場「禪馬鉄工場」の社名として馴染みでしょう。禪馬ウオルクス・東洋バブコック・東洋汽缶・バブコック日立・・・と時代の風で名前がいろいろ変わりますが、量販店「ニトリ」から磯子警察署の隣まで占めた会社で、船舶用の巨大ボイラー製造で有名でした。裏の海べりにはランドマークだった大煙突の「ゴミ焼き場」がありましたが、チンチン電車三十両分の電気を供給した発電ボイラーもこの会社の製品でした。もともと米国のバブコック氏とウオルクス氏が創業したボイラー会社が英国に移り、アジア各地と新興国日本の需要を見込んで製造と修理のための拠点として磯子に進出したものです。明治42年にこの総支配人兼工場長として英国人F.G.ブリン氏が赴任してきましたが、話はここから始まります。



▲F.G.ブリン氏

明治37年に火ぶたを切った日露戦争でロシアのバルチック艦隊がはるばる東洋に回航されて来ますが、ウラジオ軍港に向かう道筋が対馬海峡なのか津軽海峡なのか分からず、これを迎え撃つ東郷平八郎元帥の連合艦隊にとっては大問題でした。飛行機も未発達でレーダーなどない時代ですから敵の進路を一刻も早く知ることによって勝敗が決まります。そこで民間からチャーターした「哨戒船」の出番となりました。東支那海で索敵中の哨戒船「信濃丸」が幸運にも朝もやの遠くにたくさんの黒煙を発見し、当時やっと実用に供され始めた無線電信で「敵艦見ユ」の第一報を叩きました。進路が対馬海峡と通報したのが日本海海戦の大勝利の原因だったのはあまりにも有名です。なんとこの時の信濃丸の機関長がブリン氏で、日露戦争の数年ののちここ「ゼンマ」の工場長として赴任してきたのです。開戦の二年前に結ばれた日英同盟で両国は緊密な協力関係にあり、手不足となった日本海軍は英国にひそかに幹部船員を要請しました。信濃丸は船長も機関長も日英両国のダブル編成だったのです(このことは微妙な外交関係のため余り知られていません)。信濃丸自体も英国で進水した日本郵船の船ですが英国から日本に回航して来たのもブリン機関長ですから手慣れた船でした。氏にとって自分の手で動かしバルチック艦隊全滅という大勝利の端緒を作った信濃丸への愛着が大きかったことは想像に難くありません。(ブリン氏は着任後専門家として「ゴミ焼き場」の建設にも大きな貢献をしてくれました)。

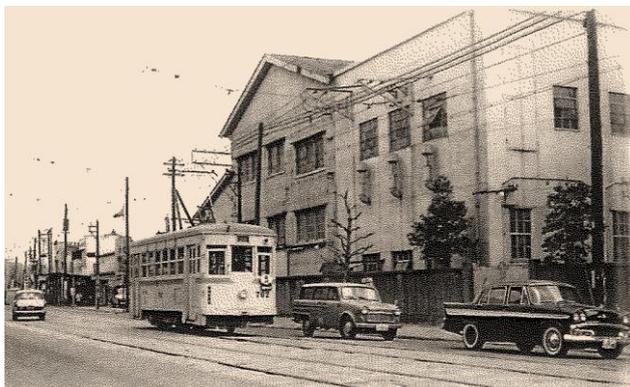


▲哨戒船信濃丸



▲中庭から見たブリン邸

磯子のバブコック社に招かれ16号線の向かいの社宅を改築することになったときに偶然にもあの信濃丸が大修理で横須賀海軍工廠のドックに入ることを聞きました。ブリン氏は小躍りして出かけ、甲板のラワン材が不用になると知って早速払い下げて貰いました。新築するブリン邸の建築用材として活用し、身の回りを信濃丸の思い出で包み込んだのです。大量のラワン厚板は細かく裁断されウロコ状に整えられ二階建て洋館の外壁全面に張り廻らされました。今の横浜銀行磯子支店の駐車場の場所に面白いかたちの外板を張ったオシャレな二階建ての西洋館があったのを記憶している方もおられるかもしれません。関東大震災のときには幸い倒壊を免れたので治安維持に当たる横浜憲兵隊の駐屯所として一階全部を提供しました。太平洋戦争後は東洋バブコック社員の福利施設(光風園)になりましたが、日露戦争で功績を挙げた記念すべき「哨戒船信濃丸」の船体の一部はこの町で多くの人の目に触れながらも今は消えてしまいました。



▲昭和三十年代の「東洋バブコック社」

山手と馬車道にある「レストラン十番館」には信濃丸で使われた食堂用チェアが保存され「日本郵船資料館」にも貸し出されています。ちなみに「ゼンマ」で製造された昭和初期の大型ボイラー1基が東京赤羽団地の前身たる陸軍砲工廠(のちの陸軍造兵廠)の動力源として力を発揮し、その後呉海軍工廠で戦艦「大和」の建造にも使われましたが、使命を果たした今は旧工廠に隣接するバブコック社呉工場の空地で錆びたまま放置されています。世界中どここの国にもある「産業考古博物館」が横浜に出来ればこのボイラーはまず第一号の文化財になるはずですよ。あるいは「海の見える公園」一隅に据えられ、生まれ故郷「ゼンマ」の近くで余生を送ることができるならば、この磯子が日本の近代産業発祥の地であった輝かしい歴史の証人となってくれることでしょう。

【お知らせ】 写真付で分かりやすい郷土誌をご家族で読んでみませんか？ 価格は2000円(税込)です。葛城先生の新著「やぶにらみ磯子郷土誌」この機会に是非、ネダテ住建までお申し込み下さい。